

天守閣の木材調達に対する反対討論 西山あさみ議員（７月４日）

「石垣部会」も文化庁「復元検討委員会」も ホンモノの石垣を痛める恐れ

7月4日の本会議で、名古屋城天守閣の木造復元にかかわって木材を調達する契約議案の採決が行われ、西山あさみ議員が反対討論を行いました。日本共産党議員と自民党議員2人が反対しました。

(西山議員) 日本共産党市議団を代表して、名古屋城天守閣木造化にかかる木材の契約について、反対の立場から討論します。

反対する理由は、文化庁が現天守閣の解体・木造化を許可する見通しがない中で、木材調達を先行させるという強引なやり方は、市民にさらなる負担をもたらす恐れがあるからです。

名古屋城天守閣整備事業先行工事
(木材の製材)の内訳

区分	本数	金額
木材費	2,323本	68億4424万円
大天守	1,828本	65億1813万円
小天守	495本	3億2610万円
運搬費		6520万円
乾燥費		1億7052万円
保管費		1億2692万円
諸経費(現場管理費、 仮設建物費など)		15億4811万円
消費税・地方消費税		7億40万円
計		94億5540万円

現状変更許可を得る保証なし

有識者による「石垣部会」は、「江戸時代から残る価値ある石垣を、復元で傷める恐れがある」と警告し、文化庁の復元検討委員会も「天守解体および木造天守建築時における、天守台石垣に対する影響を考える必要がある」と本市に意見しています。

石垣調査について本市は、目視による調査で十分としていますが、石垣の専門家は、穴倉の石垣根石・背面調査も必要だと指摘しています。これらの指摘にたいして本市は、「理解してもらえるよう努力する」と繰り返しだけで、文化庁の現状変更許可が得られる保証はありません。

名古屋城「22年完成」揺らぐ

[illegible]

保全めぐり市と専門家

会議「石垣部会」の理解を
得るよう文化庁側が求めて
市と文化庁がこれまでに

天守復元石垣で対立

2018年7月2日 中日新聞1面

活動 名古屋城の石垣保全

505億円以上かかるおそれ

見通しのない中で木材契約をすれば、さらなる市民負担に繋がります。

いま、契約をしなかった場合には損害賠償請求はありませんが、急いで契約し、許可が得られず計画が遅れば、木材の保管料に毎年１億円かかると市は答弁しています。

竹中工務店との基本協定では、業者「自らの努力のみ」で難しい場合には、費用負担についても市側と協議することが明記されており、事業費の高騰に繋がる恐れがあります。



一旦立ち止まり 市民の声を聞け

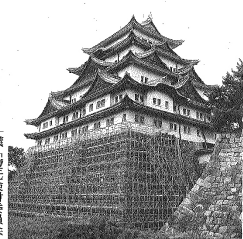
2022年完成のスケジュールありきの木造化計画は一旦立ち止まり、市民の声を聞くべきだと申し上げて、討論を終わります。

名古屋城天守閣

指名する市長が、翌年の任期の完了までを巡り、市が旧市議会へ提案したいた木村誠議案と契約に関する議事が三日、市議会経済文化常任委員会で賛成多数で可決された。しかしその後、今秋に開く文化審議会への認可もめぐって、指す市は、来年一月頃の認可に向けケジメケシールの再検討を始めていて、市情からはいったん立ち止まらなければならないという見解を示している。

この判断は、委ねるのではなく問がある。なかで、市の計画の進め方の懸念があった。（小栗清雄）

市議文化審前に判断、疑問



石曜の歴史調査のため、現場が組まれて
いる名古屋城（3日、小笠原考古学館）

石曜陣は、大逆無道を進
めようとする、研究組
織が必要と認識してきた
が、長年、名古屋を担当
していた学芸員が年度末で
退職する不足は、別の現場
の人手不足は深刻になり
ていたという。

文化庁から求められた現
天守閣の価値の評價も、市
には頭の痛い問題。

現代美術館は、同庁の復興
検討委員会では、戦後都市文

化を守っていくことが最大
な努力であることは共通認
識だと、追従費用が発生
しないとの見込みを主張

木材調達へ 議案可決

市会委 計画進行に懸念の声

者会連石垣県会が開かれるが、有識者側は「文化庁から市に求められた」石垣保全のための調査や態勢が整っていない」と主張してきており、現天守閣の解体可能性も諒めた。

一方で、名古屋城総事務所の西野輝一所長は2日の市議会経済水道員会で、「上限を明示

計画遅れを咎
 める。今後に於ける要は、共
 産を除く委員(総長、理事、
 幹事の上限等)を、とうい
 成り目的の等々を、とうい
 案を加えるとした上、議
 案を賛成した。

反対に共產黨は石
 垣の問題として、近き年分
 助の等々を、とうい

市は事業の上限等
 を強硬にして、その終
 果が現れないようす

た、文化上の権威

クレジットが強いとい
 う。秋に文化審議で説
 教に内閣に罷任して
 中興、即ち市会、6
 市、市会、市会、6
 ユーロに依り、状況

して、とうい
 して、とうい

現時守関の評論
膨らまないうつらうに
含められて。広田の事
は本会論に答弁で、市事

2018年7月4日 読売新聞